

令和 4 年 6 月 29 日現在

機関番号：30110

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H03121

研究課題名(和文) 認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの多職種共同開発

研究課題名(英文) Development of preventative dysphagia program for the elderly with dementia considering pathology by interdisciplinary team

研究代表者

山田 律子(YAMADA, Ritsuko)

北海道医療大学・看護福祉学部・教授

研究者番号：70285542

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する「原因疾患別予防プログラム」を多職種が学際的に共同して開発することを目的とした。

2018-2019年度は「平成24～28年度基盤研究A」で見出された研究成果をベースに、文献レビューと有識者会議、前向きコホート研究により予防プログラムの試案を作成した。2020年度はコロナ禍のために予定していた調査の変更を余儀なくされたものの、2020-2021年度に原因疾患を拡大して、摂食嚥下障害を有する高齢者を対象とした原因疾患別予防プログラムを開発した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

学術的意義：予防を一次予防(発症予防)・二次予防(早期発見・対応)・三次予防(重度化の予防)と捉えることによって、認知症高齢者の摂食嚥下障害の予防が可能であることが明らかになり、多職種で共同開発した認知症の原因疾患のみならず合併症も含めた「原因疾患別プログラム」を示すことができたことは学術的にも意義が大きいと考える。

社会的意義：本プログラムで認知症高齢者の摂食嚥下障害を予防することによって、当事者が誤嚥性肺炎や窒息を起こすことなく最期まで「食べる喜び」を支えることはもとより、口からおいしく食べてほしいと願う家族の思いにも貢献できると考える。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to develop a disease-specific prevention program for eating and swallowing disorders in older adults with dementia through interdisciplinary collaboration.

During the Fiscal Year (FY) 2018-2019, a draft of a prevention program for eating and swallowing disorders in older adults with dementia was developed through literature review, expert meetings and prospective cohort study based on the research results found in the "FY2012-2016 Grant-in-Aid for Scientific Research (A)." During the FY2020, the planned study changed due to coronavirus. However, during the FY2020-2021, we developed a prevention program for older adults with dementia by expanding the causative disease.

研究分野：老年看護学

キーワード：認知症 高齢者 摂食嚥下障害 原因疾患 予防 プログラム 多職種

1. 研究開始当初の背景

「平成 19～23 年度学術フロンティア推進事業」において、認知症の原因疾患によって摂食嚥下障害に差異が存在することを見出した（山田他,2011）。さらに「平成 21 年度老人保健健康増進等事業」等によって認知症高齢者の摂食嚥下障害の特徴と支援に関する系統立った研究を行ってきた（平野,2011）。その結果、アルツハイマー型認知症 dementia of Alzheimer's type (DAT) と血管性認知症 vascular dementia (VaD) の重症度に応じた摂食嚥下障害の特徴と支援の方向性が示された（枝広他, 2013）。しかし、当初はレビー小体型認知症 dementia with Lewy bodies (DLB) と前頭側頭型認知症 frontotemporal dementia (FTD) の摂食嚥下障害の特徴を示した研究は殆どなかったことから（Ikeda et al., 2002）、「平成 24～28 年度基盤研究 A」の助成を受けて認知症の原因疾患および重症度別の摂食嚥下障害の特徴を見出し、対応する食事ケアスキルを開発してきた（山田他,2016）。この研究過程で予防可能な摂食嚥下障害の存在が示唆され、認知症高齢者の摂食嚥下障害への対応のみならず、「予防」の観点からの研究が必要であるとの考えに至った。なお、認知症高齢者の摂食嚥下障害に「予防」の観点からのエビデンスを示した研究は皆無であった。また、原因疾患により摂食嚥下障害の特徴が異なっていることから、認知症高齢者の摂食嚥下障害に対しては「原因疾患別予防プログラム」の開発が必要であると考えた。さらに本課題に取り組むためには、多面的かつ専門性の高い視点が求められるため、予防プログラムを多職種が学際的に共同して開発することが必要であった。

以上のことから、本研究課題の核心をなす学術的「問い」は「認知症高齢者の摂食嚥下障害を予防するために、認知症の原因疾患別予防プログラムは有効であるのか」とした。なお、本研究における「予防」とは、一次予防（摂食嚥下障害の発生防止）、二次予防（摂食嚥下障害の早期発見・対応）、三次予防（摂食嚥下障害の重度化防止）の 3 つを意味している。

2. 研究の目的

本研究のゴールは、認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムを多職種が学際的に共同して開発することである。このため、以下の年度別の研究目的を設定した。

1) 2018～2019 年度：認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する「原因疾患別予防プログラム」の試案を作成すると共に、分担研究者の柴本教授が開発した嚥下能力測定機器を認知症高齢者に対して適用するためのプロトコールを作成する。

2) 2020～2021 年度：認知症の原因疾患を拡大するとともに、認知症高齢者が合併しやすい疾患にも焦点を当てて摂食嚥下障害の原因疾患の範囲を拡大し、多職種で活用可能な認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する疾患別予防プログラムを開発する。

なお、本研究は 3 年計画であったが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症（Coronavirus Disease 2019：COVID-19）の感染拡大により研究の延期と変更を余儀なくされた。しかし、コロナ禍でも実施可能な研究に見直すことで、上記 2) のように原因疾患の範囲を拡大して、新たな知見も得られる研究目的へと修正した。

3. 研究の方法

1) 認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの試案

国内外の文献レビューを行うとともに、摂食嚥下プロセス（5期モデル）に基づく原因疾患別予防プログラム（案）について、多職種からなる有識者会議による検討を行った。

さらに、準備期・口腔期障害の予防に対するエビデンスが必要であったことから、本研究への協力が得られた高齢者介護施設 6 施設を対象に、前向きコホート研究を行った。対象者は、介護保険施設を利用する同意が得られた高齢者 103 名で、認知症群 68 名と非認知症群 35 名の 2 群に分類した。調査期間は、2018 年 12 月から 2020 年 2 月までとした。調査項目は、口腔機能低下症の検査 7 項目、属性、認知機能認知症の重症度(Clinical Dementia Rating : CDR)、リンシング(ぶくぶくうがい)の可否、日常生活動作(Functional Independence Measure : FIM)とした。分析方法は、統計解析ソフトウェア IBM® SPSS® Statistics 26 を使用して、認知症群と非認知症群の 2 群間で、質的データは 2 検定と残差分析、関連の強さに Cremer の V 係数、量的データについては Shapiro-Wilk 検定により正規分布に従う変数には t 検定、従わない場合には Mann-Whitney U 検定を行った。

2) 嚥下能力測定機器を認知症高齢者に使用するためのプロトコールの作成

「嚥下能力測定機器」(特願 2016-229661、特開 2018-086039)の開発者：柴本教授を中心に有識者会議を開催し、機器に改良を加えた。改良した「嚥下能力測定機器」を関東と北海道で計 2 台購入し、本機器の使用方法について柴本教授から研究者たちが説明を受けて測定を試みた。試用後、認知症高齢者の嚥下能力測定のためのプロトコールの新たな作成に向けて、これまでの研究者たちの知見や経験をもとに、認知症の原因疾患別特性を踏まえての協議を重ねた。

3) 認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの開発

認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する「原因疾患別予防プログラム」を開発するために、認知症の原因疾患を拡大するとともに、認知症高齢者が合併しやすい心不全や大腿骨近位部骨折などに焦点を当てて、摂食嚥下障害の原因疾患の範囲を拡大した上で、一次・二次・三次予防の観点から研究成果を分類した。この過程で、先の研究から見いだされた認知症高齢者の準備期・口腔期の機能低下を防ぐために、歯科医師・歯科衛生士以外の他の職種でも口腔機能低下を早期に発見でき、摂食嚥下障害の発生予防に繋ぐことができる指標を検討した。

4. 研究成果

1) 認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの試案

前向きコホート研究の結果、認知症群 68 名は女性が 55 名 (80.9%) を占め、年齢の平均値 $\pm SD$ が 86.5 \pm 6.7 歳であったのに対して、非認知症群 35 名は女性が 31 名 (88.6%) を占め、年齢の平均値 $\pm SD$ は 82.9 \pm 6.6 歳であり、年齢のみ有意差を認めた ($p = .012$)。また認知症群は、FIM 合計得点が 57.9 \pm 34.9 点、BI 合計得点が 39.5 \pm 29.8 点と、非認知症群の FIM 合計得点 104.4 \pm 25.1 点、BI 合計得点 75.6 \pm 25.5 点に比べて有意に低値であった (各 $p < .001$)。さらに、栄

養状態のうち MNA 得点は、認知症群は 8.9 ± 2.0 点であり、非認知症群の 10.8 ± 2.1 点に比して有意に低く ($p < .001$)、スクリーニングの判定結果でも「低栄養」の該当者は、認知症群が 24.4%と非認知症群の 5.7%に比べて有意に多かった (図 1)。

口腔機能低下症の検査 7 項目 (図 2) では、「口腔衛生状態」「咬合力」「舌口唇運動機能」「咀嚼機能」「嚥下機能」の 5 項目において、認知症群は非認知症群よりも「機能維持」の該当者の比率が有意に減少していた。一方で認知症群でも機能を維持している者も存在することが示された。さらに、機能維持が 20% 以下であった「舌口唇運動」「咀嚼機能」「舌圧」「咬合力」といった準備期・口腔期の機能低下を早期に発見し、維持できるよう支援することが、認知症高齢者の摂食嚥下障害の予防に繋がる可能性があることが示唆された。

2) 嚥下能力測定機器を認知症高齢者に使用するためのプロトコルの作成

「嚥下能力測定機器」PAL SW Advanced (パルススイッチアドバンス) を認知症高齢者に使用するためのプロトコルを作成した。なお、測定に際しての表面筋電図の電極貼付位置は、左右側下顎下縁、オトガイ下部正中をメルクマールとした。また、表面筋電図電極とパルススイッチアドバンスを連結する電極の種類、感度調整、校正曲線に関して検討した。

認知症高齢者に本機器を適用するためには、さらなる検証の必要性が課題ではあるものの、現在、臨床で行われている「摂食嚥下障害スクリーニング検査」では嚥下能力を評価できない。しかし、本機器は、電極貼付の了解さえ得られれば認知症が重度でも測定が可能であり、嚥下能力 (嚥下予備能) を上図のように「正常」「要注意」「危険」とわかりやすく判定できることから、臨床実践においても有用と考える。

3) 認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの開発

一次・二次予防では、当事者の口腔機能低下が疑われる段階で、歯科医療職以外の職種でも評価可能な「リンシング(ぶくぶくうがい)の可否」と「日常生活動作能力(FIM による測定)」が「口腔機能低下症の各項目」の予測因子になり得ること(末永他,2021)が明らかにされた(會田班)。また、地域介入による認知症高齢者の口腔機能維持の効果が示され(平野・枝広班)、早期に歯科医療へ繋ぐことが摂食嚥下障害に至る前の口腔機能低下の予防に有効であることが強く示唆

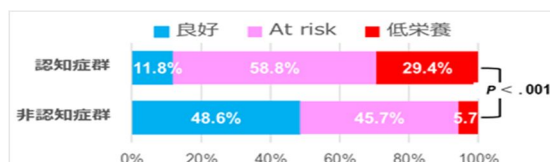


図1 認知症群と非認知症群の栄養スクリーニング (MNA-SF) の判定結果

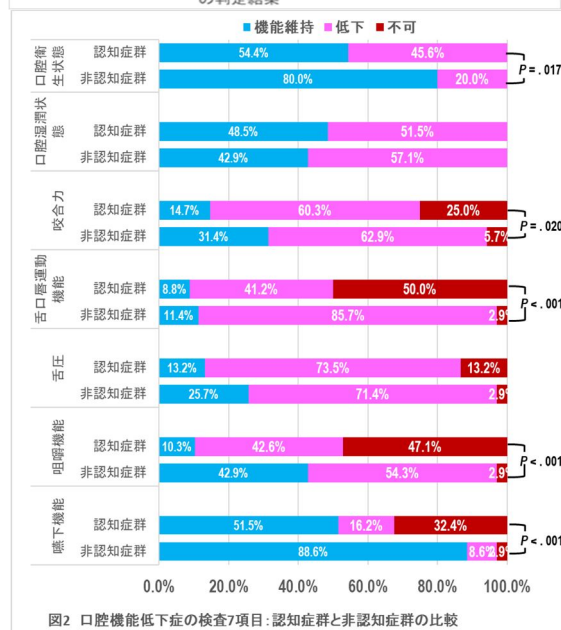
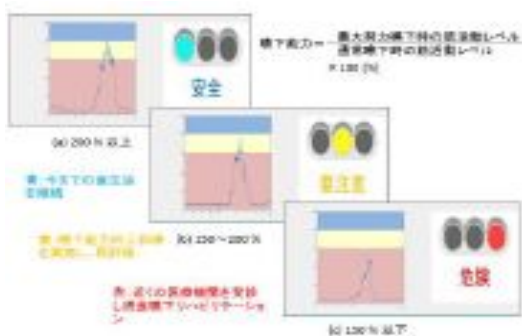


図2 口腔機能低下症の検査7項目: 認知症群と非認知症群の比較
機能維持: 口腔機能低下症の検査基準値に該当しなかった者
低下: 口腔機能低下症の検査基準値に該当した者
不可: 指示理解が得られない等の理由で検査が実施できなかった者



された。また、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症の初期の嗅覚低下は食にも影響することから、予防介入としてのアロマセラピーでは、昼用アロマの成分にサイプレス、夜用アロマの成分にマジョラムを追加することの効果を実験で確認した（浦上班）。

三次予防では、認知症の原因疾患としての右側頭葉優位型意味性認知症（semantic dementia）と左側頭葉優位型認知症の精神症状を食行動をも含めて比較した結果、右側頭葉優位型認知症では行動異常型前頭側頭型認知症に似た食行動を呈することが明らかになった（池田班）。このことから、四大認知症に、これらの認知症を加えた原因疾患別予防プログラムを作成した。また、心不全や大腿骨近位部骨折で入院する認知症高齢者は低栄養に至りやすいことが、本調査で明らかになった。この背景には、入院前からの低栄養に加えて、入院環境に適応できずに先行期の摂食嚥下障害が出現していることも示された。このことから、入院時からの摂食嚥下機能と栄養状態のアセスメントによる環境調整が不可欠であり、急性期医療を受ける認知症高齢者の摂食嚥下障害の原因疾患別予防プログラムは、他の合併症についても今後さらに検討していく必要がある（山田・千葉班）。

認知症の重症度をも考慮した予防プログラムでは、認知症の原因疾患に共通してエンドオブライフ（End-of-Life：EOL）期に至る前までは、低栄養に留意して摂食嚥下障害を予防する必要がある。一方で、EOL 期では低栄養になることを自然な経過として捉え、comfort feeding を重視した三次予防の観点からのプログラムが重要であることが示された（山田,2022）。また、EOL 期にある認知症高齢者に対する人工的水分・栄養補給法と倫理的諸課題に関する文献調査を実施した結果、英語圏においては既に“comfort feeding”が第一選択という社会的コンセンサスが形成されているが、アジア諸国のイスラム圏や儒教の影響がある香港では、生命維持への社会通念が西洋とは異なり、また親である患者の医療・ケアに関する意思決定における子ども世代の関与のあり方が“comfort feeding”の受け入れを困難にしていることが示唆された（会田,2021）。こうした社会的・文化的な特徴による倫理的な問題意識の相違は、日本での臨床実践を検討する際にも参考となる部分があると考えられる（会田班）。今回、コロナ禍による研究計画の変更はあったものの、多職種によって共同開発した認知症高齢者の摂食嚥下障害を予防するための「認知症の原因疾患別予防プログラム」は有効であることが示された。

<引用文献>

- 会田薫子:エンドオブライフ:認知症を有する人への人工的水分・栄養補給法の考え方.内科,127:275-279,2021.
- Ikeda M, Brown J, Holland AJ, et al.:Changes in appetite, food preference, and eating habits in frontotemporal dementia and Alzheimer's disease. Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry,73:371-376, 2002.
- 枝広あや子, 平野浩彦, 山田律子, 千葉由美, 渡邊裕:アルツハイマー病と血管性認知症高齢者の食行動の比較に関する調査報告第一報 - 食行動変化について.日本老年医学会雑誌,50:651-660,2013.
- 平野浩彦:認知症に伴う食行動関連障害に対する支援ガイドラインに関する調査研究.平成 22 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業報告書, 1-180, 2011 .
- 末永智美, 会田英紀, 山田律子, 川上智史, 平井敏博:介護保険施設を利用する高齢者の口腔機能低下の予測因子:他職種が評価可能なリンシングと日常生活動作に焦点を当てて.老年歯科医学,36: 227-238,2021.
- 山田律子, 内ヶ島伸也, 千葉由美, 鈴木真理子, 平野浩彦, 枝広あや子:認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴とケアの方向性 - 認知症の原因疾患と重症度を踏まえた分析,日本老年看護学会第 16 回学術集会, 2011 .
- 山田律子:認知症高齢者の「食べる喜び」を支えるためのエンドオブライフケア.日本エンドオブライフケア学会誌, 6(1):27-31, 2022.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計105件（うち査読付論文 77件 / うち国際共著 26件 / うちオープンアクセス 55件）

1. 著者名 山田律子	4. 巻 Vol.12
2. 論文標題 認知症高齢者がおいしく食べるために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本アンチエイジング歯科学会誌	6. 最初と最後の頁 149-152
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 39
2. 論文標題 認知症の人の食を守るためのアセスメントの視点	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Physician	6. 最初と最後の頁 343-346
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 9
2. 論文標題 認知症高齢者の食支援と歯科医療の重要性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 認知症の最新医療	6. 最初と最後の頁 106 - 107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐竹祐人, 森 康治, 佐藤俊介, 繁信和恵, 森 悦朗, 池田 学	4. 巻 34
2. 論文標題 複数の医療施設を経由し、スムーズに福祉施設入所につなげられた前頭側頭型認知症の一例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 691-697
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田平隆之, 堀田 牧, 小川敬之, 村田美希, 吉浦和宏, 丸田道雄, 池田由里子, 石川智久, 池田 学	4. 巻 30
2. 論文標題 地域在住認知症患者に対する生活行為工程分析表 (PADA-D) の開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 923-931
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水秀明, 小森憲治郎, 豊田康孝, 吉田 卓, 越智紳一郎, 森 崇明, 池田 学	4. 巻 35
2. 論文標題 常同行動に及ぼす意味記憶障害の影響について 意味性認知症例の行動観察より	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神経心理学	6. 最初と最後の頁 225-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長瀬亜岐, 堀田 牧, 池田 学	4. 巻 30
2. 論文標題 糖尿病外来受診者と認知障害	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 1914-1020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chang Ya-Ting, Kazui Hiroaki, Ikeda Manabu, Huang Chi-Wei, Huang Shu-Hua, Hsu Shih-Wei, Chang Wen-Neng, Chang Chiung-Chih	4. 巻 10
2. 論文標題 Genetic Interaction of APOE and FGF1 is Associated with Memory Impairment and Hippocampal Atrophy in Alzheimer's Disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Aging and disease	6. 最初と最後の頁 510 ~ 510
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14336/AD.2018.0606	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe Hiroyuki, Ikeda Manabu, Mori Etsuro	4. 巻 19
2. 論文標題 Logopenic progressive aphasia with neologisms: a case report	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Neurology	6. 最初と最後の頁 1~6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12883-019-1524-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hatada Yutaka, Hashimoto Mamoru, Shiraishi Shinya, Ishikawa Tomohisa, Fukuhara Ryuji, Yuki Seiji, Tanaka Hibiki, Miyagawa Yusuke, Kitajima Mika, Uetani Hiroyuki, Tsunoda Naoko, Koyama Asuka, Ikeda Manabu	4. 巻 71
2. 論文標題 Cerebral Microbleeds Are Associated with Cerebral Hypoperfusion in Patients with Alzheimer's Disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 273~280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-190272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabira Takayuki, Hotta Maki, Murata Miki, Yoshiura Kazuhiro, Han Gwanghee, Ishikawa Tomohisa, Koyama Asuka, Ogawa Noriyuki, Maruta Michio, Ikeda Yuriko, Mori Takaaki, Yoshida Taku, Hashimoto Mamoru, Ikeda Manabu	4. 巻 10
2. 論文標題 Age-Related Changes in Instrumental and Basic Activities of Daily Living Impairment in Older Adults with Very Mild Alzheimer's Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra	6. 最初と最後の頁 27~37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000506281	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Hiroyuki, Ikeda Manabu, Mori Etsuro	4. 巻 11
2. 論文標題 Primary Progressive Aphasia as a Prodromal State of Dementia With Lewy Bodies: A Case Report	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 49~49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2020.00049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ducharme Simon, Ikeda Manabu, et al.	4. 巻 Mar 4. pii: awaa018.
2. 論文標題 Recommendations to distinguish behavioural variant frontotemporal dementia from psychiatric disorders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/brain/awaa018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 33
2. 論文標題 アルツハイマー型認知症のエンドオブライフ・ケア 人工的水分・栄養補給法の問題を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dementia Japan	6. 最初と最後の頁 137-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 9
2. 論文標題 超高齢社会の治療選択に関わる意思決定支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人間と医療	6. 最初と最後の頁 19-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kouzuki Minoru, Kitao Satoshi, Kaju Takeshi, Urakami Katsuya	4. 巻 20
2. 論文標題 Evaluation of the effect of aroma oil as a bath salt on cognitive function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 163 ~ 171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kouzuki Minoru, Kato Toshiaki, Wada Iseo Kenji, Takeda Shinya, Tamura Atsuhito, Takanashi Yuichi, Azumi Shintaro, Kojima Yoshinori, Maruyama Chikako, Hayashi Maki, Itou Michimi, Urakami Katsuya	4. 巻 7
2. 論文標題 A program of exercise, brain training, and lecture to prevent cognitive decline	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Annals of Clinical and Translational Neurology	6. 最初と最後の頁 318 ~ 328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/acn3.50993	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kouzuki Minoru, Ichikawa Junya, Shirasagi Daiki, Katsube Fumiya, Kobashi Yuuki, Matsumoto Hideki, Chao Huichia, Yoshida Shintaro, Urakami Katsuya	4. 巻 20
2. 論文標題 Detection and recognition thresholds for five basic tastes in patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease dementia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Neurology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12883-020-01691-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河月稔, 小澤洋平, 金子俊彦, 浦上克哉	4. 巻 9
2. 論文標題 トドマツから抽出した精油を用いた芳香療法が認知機能に与える影響についての検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本認知症予防学会誌	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 窪木拓男, 姜 英男, 平井敏博	4. 巻 134
2. 論文標題 認知症と口腔機能の関連を科学する	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歯界展望	6. 最初と最後の頁 213-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keiko Motokawa, Jun Yasuda, Yurie Mikami, Ayako Edahiro, Shiho Morishita, Maki Shirobe, Yuki Ohara, Kanji Nohara, Hirohiko Hirano, Yutaka Watanabe.	4. 巻 86
2. 論文標題 The Mini Nutritional Assessment-Short Form as a predictor of nursing home mortality in Japan: A 30-month longitudinal study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daichi Hoshino, Yuataka Watanabe, Ayako Edahiro, Yoshihiro Kugimiya, Kentaro Igarashi, Keiko Motokawa, Yuki Ohara, Hirohiko Hirano, Mie Myers, Shouji Hironaka, Yasubumi Maruoka.	4. 巻 87
2. 論文標題 Association between simple evaluation of eating and swallowing function and mortality among patients with advanced dementia in nursing homes: 1-year prospective cohort study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴本 勇	4. 巻 9
2. 論文標題 摂食嚥下障害患者への表面筋電バイオフィードバック訓練	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 嚥下医学	6. 最初と最後の頁 63-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤豊展, 谷合信一, Huu Hanh Nguyen Thi, 秋山直登, 鈴木優希, 安武夏海, Vi Au Tuong, 柴本勇	4. 巻 9
2. 論文標題 健常高齢者における一回嚥下量を変えたときの舌骨上筋群と舌骨下筋群の筋活動量の変化 表面筋電図を用いた検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 嚥下医学	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukiya Nakai, Makoto Sasaki, Katsuhiko Kamata, Atsushi Nakayama	4. 巻 6
2. 論文標題 Development of sEMG-based robust oral motion classification method and its application to electric wheelchair operation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mechanical Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1299/mej.19-00144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Sasaki, Shumpei Ito, Katsuhiko Kamata, Masahiro Yoshikawa, Isamu Shibamoto, Atsushi Nakayama	4. 巻 7
2. 論文標題 Oral motion classification of the elderly for prevention and rehabilitation of dysphagia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mechanical Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1299/mej.19-00076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Suzuki, Makoto Sasaki, Katsuhiko Kamata, Atsushi Nakayama, Isamu Shibamoto, Yasushi Tamada	4. 巻 9
2. 論文標題 Swallowing pattern classification method using multichannel surface EMG signals of suprahyoid and infrahyoid muscles	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering	6. 最初と最後の頁 10-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.9.10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 226
2. 論文標題 認知症高齢者の食べる喜びを支える看護の実際	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Rehabilitation MB	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 認知症者の「食べること」を支える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本在宅ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 29-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 29(1)
2. 論文標題 最期までその人らしく生きることを多職種で共に支えるためには～認知症高齢者の食支援を通して考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ベストナース	6. 最初と最後の頁 51 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto M, Watanabe Y, Edahiro A, Motokawa K, Shirobe M, Hirano H, Ito K, Kanehisa Y, Yamada R, Yoshihara A	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Self-Feeding Ability as a Predictor of Mortality Japanese Nursing Home Residents : A Two-Year Longitudinal Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Nutr Health Aging	6. 最初と最後の頁 157-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-018-1125-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川添恵理子, 安部博史, 三国久美, 山田律子, 石角鈴華	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 医療系総合大学の多職種連携教育が看護学生の多職種連携コンピテンシーに及ぼす効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 北海道医療大学看護福祉学部会誌	6. 最初と最後の頁 3 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chang YT, Mori E, Suzuki M, Ikeda M, Huang CW, Lee JJ, Chang WN, Chang CC	4. 巻 21
2. 論文標題 APOE-MS4A genetic interactions are associated with executive dysfunction and network abnormality in clinically mild Alzheimer's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 NeuroImage: Clinical	6. 最初と最後の頁 101621 ~ 101621
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2018.101621	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanemoto H, Kazui H, Suehiro T, Kishima H, Suzuki Y, Sato S, Azuma S, Matsumoto T, Yoshiyama K, Shimosegawa E, Tanaka T, Ikeda M	4. 巻 34
2. 論文標題 Apathy and right caudate perfusion in idiopathic normal pressure hydrocephalus: A case-control study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geriatric Psychiatry	6. 最初と最後の頁 453 ~ 462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gps.5038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoki Y, Kazui H, Pascual-Marqui RD, Ishii R, Yoshiyama K, Kanemoto H, Suzuki Y, Sato S, Azuma S, Suehiro T, Matsumoto T, Hata M, Canuet L, Iwase M, Ikeda M	4. 巻 50
2. 論文標題 EEG Resting-State Networks Responsible for Gait Disturbance Features in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical EEG and Neuroscience	6. 最初と最後の頁 210 ~ 218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1550059418812156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miki K, Nakae A, Shi K, Yasuda Y, Yamamori H, Fujimoto M, Ikeda M, Shibata M, Yukioka M, Hashimoto R	4. 巻 38(4)
2. 論文標題 Frequency of mental disorders among chronic pain patients with or without fibromyalgia in Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacol Rep	6. 最初と最後の頁 167-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kudo N, Yamamori H, Ishima T, Nemoto K, Yasuda Y, Fujimoto M, Azechi H, Niitsu T, Numata S, Ikeda M, Iyo M, Ohmori T, Fukunaga M, Watanabe Y, Hashimoto K, Hashimoto R	4. 巻 21(7)
2. 論文標題 Plasma Levels of Soluble Tumor Necrosis Factor Receptor 2 (sTNFR2) Are Associated with Hippocampal Volume and Cognitive Performance in Patients with Schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Neuropsychopharmacol	6. 最初と最後の頁 631-639
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsushita M, Yatabe Y, Koyama A, Katsuya A, Ijichi D, Miyagawa Y, Ikezaki H, Furukawa N, Ikeda M, Hashimoto M.	4. 巻 13(5)
2. 論文標題 Are saving appearance responses typical communication patterns in Alzheimer's disease?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 1-9 (e0197468)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsunoda N, Hashimoto M, Ishikawa T, Fukuhara R, Yuki S, Tanaka H, Hatada Y, Miyagawa Y, Ikeda M	4. 巻 79
2. 論文標題 Clinical Features of Auditory hallucinations in patients with Dementia with Lewy Bodies: A soundtrack of visual hallucinations.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Psychiatry	6. 最初と最後の頁 e1-e6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4088/JCP.17m11623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita K, Miura K, Fujimoto M, Shishido E, Shiino T, Takahashi J, Yamamori H, Yasuda Y, Kudo N, Hirano Y, Koshiyama D, Okada N, Ikeda M, Onitsuka T, Ozaki N, Kasai K, Hashimoto R	4. 巻 202
2. 論文標題 Abnormalities of eye movement are associated with work hours in schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 420 ~ 422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2018.06.064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamaguchi-Kabata Y, Morihara T, Ohara T, Ninomiya T, Takahashi A, Akatsu H, Hashizume Y, Hayashi N, Shigemizu D, Boroevich KA, Ikeda M, Kubo M, Takeda M, Tsunoda T	4. 巻 137
2. 論文標題 Integrated analysis of human genetic association study and mouse transcriptome suggests LBH and SHF genes as novel susceptible genes for amyloid- accumulation in Alzheimer ' s disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human Genetics	6. 最初と最後の頁 521 ~ 533
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00439-018-1906-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koyama A, Hashimoto M, Fukuhara R, Ichimi N, Takasaki A, Matsushita M, Ishikawa T, Tanaka H, Miyagawa Y, Ikeda M	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Caregiver Burden in Semantic Dementia with Right-and Left-Sided Predominant Cerebral Atrophy and in Behavioral-Variant Frontotemporal Dementia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dement Geriatr Cogn Dis Extra	6. 最初と最後の頁 128-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki Y, Kazui H, Yoshiyama K, Azuma S, Kanemoto H, Sato S, Suehiro T, Ikeda M	4. 巻 18(4)
2. 論文標題 Advantages of different care services for reducing neuropsychiatric symptoms in dementia patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 252-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hata M, Kurimoto R, Kazui H, Ishii R, Canuet L, Aoki Y, Ikeda S, Azuma S, Suehiro T, Sato S, Suzuki Y, Kanemoto H, Yoshiyama K, Iwase M, Ikeda M	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 Alpha event-related synchronization after eye closing differs in Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies: a magnetoencephalography study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 202-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato S, Kazui H, Shimizu Y, Yoshida T, Yoshiyama K, Kanemoto H, Suzuki Y, Morikami T, Fujisue H, Tanaka T, Ikeda M	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 Usefulness of carer-held records to support informal caregivers of patients with dementia who live at home	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 166-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐竹祐人, 松本拓也, 岩瀬真生, 池田学	4. 巻 33
2. 論文標題 当初、前頭葉症状とうつ症状が目立ったが、ビタミンB12・葉酸補充で症状改善を認めた一例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 631-635
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田学	4. 巻 29
2. 論文標題 専門医の役割と今後の課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 : 840-845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田学	4. 巻 11
2. 論文標題 認知症の臨床診断	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神科診断学	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田学	4. 巻 29
2. 論文標題 認知症の臨床疫学的研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 384-390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田学	4. 巻 11
2. 論文標題 認知症の臨床診断学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神科診断学	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田学	4. 巻 29
2. 論文標題 認知症の医学教育のあり方	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 435-437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鐘本英輝, 池田学	4. 巻 32
2. 論文標題 認知症 (アルツハイマー病など) のアウトカム測定	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神科	6. 最初と最後の頁 448-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kouzuki M, Taniguchi M, Suzuki T, Nagano M, Nakamura S, Katsumata Y, Matsumoto H, Urakami K	4. 巻 73(2)
2. 論文標題 Effect of monosodium L-glutamate (umami substance) on cognitive function in people with dementia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Eur J Clin Nutr	6. 最初と最後の頁 266-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41430-018-0349-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu J, Samuraki M, Nakajima K, ...Urakami K, Utsumi K, Wada K, Washimi Y, Yamashina S, Yamasaki J, Yoshita M, Yamada M	4. 巻 89(11)
2. 論文標題 123I-MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of DLB: a multicentre 3-year follow-up study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurol Neurosurg Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1167-1173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jnnp-2017-317398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Watanabe Y, Eda Hiro A, Shirobe M, Murakami M, Kera T, Kawai H, Obuchi S, Fujiwara Y, Ihara K, Tanaka Y, Hirano H	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 Frailty Severity and Dietary Variety in Japanese Older Persons: A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Nutr Health Aging	6. 最初と最後の頁 451-456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-018-1000-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horibe Y, Watanabe Y, Hirano H, Eda Hiro A, Ishizaki K, Ueda T, Sakurai K	4. 巻 30(9)
2. 論文標題 Relationship between masticatory function and frailty in community-dwelling Japanese elderly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aging Clin Exp Res	6. 最初と最後の頁 1093-1099
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40520-017-0888-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horibe Y, Ueda T, Watanabe Y, Motokawa K, Edahiro A, Hirano H, Shirobe M, Ogami K, Kawai H, Obuchi S, Kim H, Sakurai K	4. 巻 45(11)
2. 論文標題 A 2-year longitudinal study of the relationship between masticatory function and progression to frailty or pre-frailty among community-dwelling Japanese aged 65 and older	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Oral Rehabil	6. 最初と最後の頁 864-870
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12700	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minakuchi S, Tsuga K, Ikebe K, Ueda T, Tamura F, Nagao K, Furuya J, Matsuo K8, Yamamoto K, Kanazawa M, Watanabe Y, Hirano H, Kikutani T, Sakurai K	4. 巻 35(4)
2. 論文標題 Oral hypofunction in the older population: Position paper of the Japanese Society of Gerodontology in 2016	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 317-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12347	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Watanabe Y, Edahiro A, Ohara Y, Obuchi S, Kawai H, Kim H, Fujiwara Y, Ihara K, Murakami M, Hirano H	4. 巻 45(8)
2. 論文標題 Factors related to dissociation between objective and subjective masticatory function in Japanese community-dwelling elderly adults	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Oral Rehabil	6. 最初と最後の頁 598-604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12650	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umeki K, Watanabe Y, Hirano H, Edahiro A, Ohara Y, Yoshida H, Obuchi S, Kawai H, Murakami M, Takagi D, Ihara K, Igarashi K, Ito M, Kawai Y	4. 巻 78
2. 論文標題 The relationship between masseter muscle thickness and appendicular skeletal muscle mass in Japanese community-dwelling elders: A cross-sectional study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 18-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.05.14	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano H, Kojima M, Watanabe Y, Fujiwara Y, Ihara K, Obuchi S	4. 巻 18(7)
2. 論文標題 Comparison of body composition and physical and cognitive function between older Japanese adults with no diabetes, prediabetes and diabetes: A cross-sectional study in community-dwelling Japanese older people	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int	6. 最初と最後の頁 1031-1037
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ouchi Y, Toba K, Ohta K, Kai I, Shimizu T, Higuchi N, Shimazono S, Iijima S, Suwa S, Nishimura M, Ninomiya H, Aita K	4. 巻 18
2. 論文標題 Guidelines from the Japan Geriatrics Society for the decision-making processes in medical and long-term care for the elderly: Focusing on the use of artificial hydration and nutrition.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics and Gerontology International	6. 最初と最後の頁 823-827
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 121(4)
2. 論文標題 高齢者のエンドオブライフ・ケアと延命医療の選択(特集 高齢者医療ハンドブック)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内科	6. 最初と最後の頁 1064-1070
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 76 (増刊号5)
2. 論文標題 高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン 人工的水分・栄養補給の導入を中心に」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年医学(上)	6. 最初と最後の頁 383-387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 147 (特別号2)
2. 論文標題 エンドオブライフ・ケアの一般原則	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌「生涯教育シリーズ95 認知症トータルケア」	6. 最初と最後の頁 266-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 40 (3)
2. 論文標題 臨床倫理学と死生学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年社会科学	6. 最初と最後の頁 292-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 No. 226
2. 論文標題 特集 認知症高齢者の摂食嚥下リハビリテーション 認知症高齢者が食べられなくなったら	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 69-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 会田薫子	4. 巻 秋号
2. 論文標題 特集 高齢者のエンドオブライフ・ケア アドバンス・ケア・プランニング	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aging & Health	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuboki T, Ichikawa T, Baba K, Fujisawa M, Sato H, Aita H, Koyama S,... Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K, Yatani H, Matsumura H.	4. 巻 62
2. 論文標題 A multi-centered epidemiological study evaluating the validity of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Prosthodont Res	6. 最初と最後の頁 162-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Ura C, Miyamae F, Edahiro A, Motokawa K, Okamura T, Awata S	4. 巻 28
2. 論文標題 The Differential Effects of Age on the Association Between Childhood Socioeconomic Disadvantage and Subjective Symptoms of Dementia Among Older Japanese People	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Okamura T, Miyamae F, Ura C, Edahiro A, Motokawa K, Awata S	4. 巻 18
2. 論文標題 Is community social capital associated with subjective symptoms of dementia among older people? A cross-sectional study in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1537 ~ 1542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13519	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mikami Y, Watanabe Y, Edahiro A, Motokawa K, Shirobe M, Yasuda J, Murakami M, Murakami K, Taniguchi Y, Furuya J, Hirano H	4. 巻 57
2. 論文標題 Relationship between mortality and Council of Nutrition Appetite Questionnaire scores in Japanese nursing home residents	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrition	6. 最初と最後の頁 40 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nut.2018.05.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horibe Y, Ueda T, Watanabe Y, Motokawa K, Edahiro A, Hirano H, Shirobe M, Ogami K, Kawai H, Obuchi S, Kim H, Sakurai K	4. 巻 45
2. 論文標題 A 2-year longitudinal study of the relationship between masticatory function and progression to frailty or pre-frailty among community-dwelling Japanese aged 65 and older	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 864 ~ 870
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12700	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Umeki K, Watanabe Y, Hirano H, Edahiro A, Ohara Y, Yoshida H, Obuchi S, Kawai H, Murakami M, Takagi D, Ihara K, Igarashi K, Ito M, Kawai Y	4. 巻 78
2. 論文標題 The relationship between masseter muscle thickness and appendicular skeletal muscle mass in Japanese community-dwelling elders: A cross-sectional study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 18 ~ 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.05.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suma S, Watanabe Y, Hirano H, Kimura A, Edahiro A, Awata S, Yamashita Y, Matsushita K, Arai H, Sakurai T	4. 巻 18
2. 論文標題 Factors affecting the appetites of persons with Alzheimer's disease and mild cognitive impairment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1236 ~ 1243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13455	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami M, Watanabe Y, Edahiro A, Ohara Y, Obuchi S, Kawai H, Kim H, Fujiwara Y, Ihara K, Murakami M, Hirano H	4. 巻 45(11)
2. 論文標題 Factors related to dissociation between objective and subjective masticatory function in Japanese community-dwelling elderly adults	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 598 ~ 604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12650	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Miyamae F, Sugiyama M, Inagaki H, Edahiro A, Murayama H, Motokawa K, Awata S	4. 巻 33
2. 論文標題 To give or to receive: Relationship between social support giving/receiving and psychometrics in a large-scale survey	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geriatric Psychiatry	6. 最初と最後の頁 798 ~ 799
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gps.4853	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Motokawa K, Watanabe Y, Edahiro A, Shirobe M, Murakami M, Kera T, Kawai H, Obuchi S, Fujiwara Y, Ihara K, Tanaka Y, Hirano H	4. 巻 22
2. 論文標題 Frailty Severity and Dietary Variety in Japanese Older Persons: A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The journal of nutrition, health & aging	6. 最初と最後の頁 451 ~ 456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-018-1000-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe Y, Arai H, Hirano H, Morishita S, Ohara Y, Edahiro A, Murakami M, Shimada H, Kikutani T, Suzuki T	4. 巻 18
2. 論文標題 Oral function as an indexing parameter for mild cognitive impairment in older adults	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 790 ~ 798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13259	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horibe Y, Watanabe Y, Hirano H, Edahiro A, Ishizaki K, Ueda T, Sakurai K	4. 巻 30
2. 論文標題 Relationship between masticatory function and frailty in community-dwelling Japanese elderly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aging Clinical and Experimental Research	6. 最初と最後の頁 1093 ~ 1099
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40520-017-0888-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 56(8)
2. 論文標題 高齢者の口腔機能-オーラルフレイル-】 口腔機能と認知機能の低下	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine	6. 最初と最後の頁 759-762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 23 (5)
2. 論文標題 「口腔機能低下」を理解していますか? いまさら聞けない! 「オーラルフレイル」のこと	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 訪問看護と介護	6. 最初と最後の頁 346-351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 43 (4)
2. 論文標題 認知症患者に適した食具の選び方	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ENTAL DIAMOND	6. 最初と最後の頁 118-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋 知佳, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 本川 佳子, 本橋 佳子, 平野 浩彦, 渡邊 裕	4. 巻 13 (1)
2. 論文標題 オーラルフレイルの発現および身体的・精神的要因との関連性の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本歯科衛生学会雑誌	6. 最初と最後の頁 139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 杉山 美香, 宮前 史子, 釘宮 由紀子, 枝広 あや子, 岡村 毅, 佐久間 尚子, 栗田 圭一	4. 巻 29増刊(2)
2. 論文標題 認知症支援のための地域づくり(その2) 高島平スタディ 権利ベースのアプローチによる支援の担い手育成の方法論の探索	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉山 美香, 岡村 毅, 釘宮 由紀子, 宮前 史子, 小川 まどか, 枝広 あや子, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 森倉 三男, 新川 祐利, 岡村 睦子, 佐久間 尚子, 栗田 圭一	4. 巻 29増刊(2)
2. 論文標題 大都市における認知症支援のための地域づくり(その1) 高島平スタディ 認知症支援のための地域活動拠点と社会支援ネットワークの構築	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宇良 千秋, 岡村 毅, 稲垣 宏樹, 小川 まどか, 新川 祐利, 枝広 あや子, 杉山 美香, 宮前 史子, 佐久間 尚子, 古田 光, 畠山 啓, 扇澤 史子, 金野 倫子, 鈴木 貴浩, 栗田 圭一	4. 巻 29増刊(2)
2. 論文標題 大都市に暮らす認知症高齢者の実態調査(その1) 高島平スタディ 診断へのアクセスと社会支援ニーズ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 新川 祐利, 岡村 毅, 宇良 千秋, 宮前 史子, 佐久間 尚子, 稲垣 宏樹, 杉山 美香, 小川 まどか, 枝広 あや子, 栗田 圭一	4. 巻 29増刊(2)
2. 論文標題 地域在住高齢者における多剤併用の実態把握と認知機能障害との関連 高島平スタディ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 岡村 毅, 小川 まどか, 佐久間 尚子, 杉山 美香, 新川 祐利, 宮前 史子, 鈴木 宏幸, 白部 麻樹, 本川 佳子, 渡邊 裕, 金 憲経, 栗田 主一	4. 巻 29増刊(2)
2. 論文標題 大都市に暮らす高齢者の認知機能低下と身体・口腔機能低下との関連 高島平スタディ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 釘宮嘉浩, 渡邊裕, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 平野浩彦, 堀部耕広, 高野智史, 上田貴之, 櫻井薫	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 大都市部在住高齢者の軽度認知機能低下に関連する口腔機能の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上正治, 枝広あや子, 本川佳子, 小原由紀, 白部麻樹, 田中友規, 飯島勝矢, 平野浩彦, 岩佐康行, 渡邊裕	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 咬筋体積の簡易測定法の検討とサルコペニアとの関連性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 113 114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野大地, 渡邊裕, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 本橋佳子, 高橋知佳, 平野浩彦, 村上浩史, 弘中早苗, 丸岡靖史	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 介護老人福祉施設入所高齢者の摂食嚥下機能の簡易評価と死亡との関係: 1年間の縦断調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 117-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐健太郎, 渡邊裕, 釘宮嘉浩, 梅木賢人, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 中島純子, 伊藤誠康, 平野浩彦, 櫻井薫, 河相安彦	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 口腔機能管理指標としての咬合支持と咀嚼機能との関連-義歯装着時の機能的咬合支持の検討-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白部麻樹, 平野浩彦, 枝広あや子, 小原由紀, 本橋佳子, 森下志穂, 本川佳子, 村上正治, 大淵修一, 渡邊裕	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 終末期要介護高齢者の転帰と口腔状況との関係-特定地域悉皆調査に基づく検討-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小原由紀, 白部麻樹, 高橋知佳, 本川佳子, 本橋佳子, 枝広あや子, 平野浩彦, 渡邊裕, 大淵修一	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 高齢者の主観的口腔健康評価尺度の開発および信頼性・妥当性の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 132-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松原ちあき, 古屋純一, 尾花三千代, 白部麻樹, 高橋知佳, 枝広あや子, 本橋佳子, 本川佳子, 中島純子, 平野浩彦, 渡邊裕	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 唾液中潜血を指標とした歯周疾患の重症度に影響する要因の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 136-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋知佳, 小原由紀, 枝広あや子, 白部麻樹, 村上正治, 本橋佳子, 本川佳子, 中島純子, 平野浩彦, 渡邊裕	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 地域在住高齢者におけるオーラルフレイルに関連する因子の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤加代子, 枝広あや子, 渡部芳彦, 小原由紀, 本橋佳子, 森下志穂, 本川佳子, 井上誠, 渡邊裕, 平野浩彦	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 介護保険施設利用者における口腔機能向上および栄養改善プログラムに関する質的研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子, 小原由紀, 白部麻樹, 本川佳子, 本橋佳子, 伊藤加代子, 渡部芳彦, 渡邊裕, 田中弥生, 安藤雄一, 平野浩彦	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 介護保険施設の経口摂取支援のプロセス評価による多職種連携の発展効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子, 杉山美香, 粟田主一	4. 巻 55
2. 論文標題 認知症疾患医療センターにおける認知症疾患の年間鑑別診断数と発生率の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇良千秋, 杉山美香, 稲垣宏樹, 枝広あや子, 本川佳子, 宮前史子, 岡村毅, 村山洋史, 粟田主一	4. 巻 55
2. 論文標題 認知症アセスメントシート(DASC-21)における自己評価と他者評価の関連性について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 168-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金憲経, 粟田主一, 渡邊裕, 小島成実, 大須賀洋祐, 本川佳子, 稲垣宏樹, 佐久間尚子, 枝広あや子, 新開省二	4. 巻 55
2. 論文標題 大都市部在住高齢者における認知的フレイルの特徴と関連要因	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 118-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 19
2. 論文標題 地域包括ケア時代の地域連携～心と体の栄養管理～ 認知症と共に生きる方に対する食事の支援	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本医療マネジメント学会雑誌	6. 最初と最後の頁 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊裕, 本川佳子, 枝広あや子, 平野浩彦, 田中弥	4. 巻 33
2. 論文標題 特別養護老人ホーム入所要介護高齢者の食欲と死亡との関係 1年間の縦断調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本静脈経腸栄養学会雑誌	6. 最初と最後の頁 466
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本川佳子, 枝広あや子, 平野浩彦, 田中弥生, 渡邊裕	4. 巻 33
2. 論文標題 サルコペニア・フレイルの評価とリハビリテーション栄養 地域在住高齢者のフレイル重症度と栄養関連指標の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本静脈経腸栄養学会雑誌	6. 最初と最後の頁 260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計190件 (うち招待講演 103件 / うち国際学会 30件)

1. 発表者名 安西啓恵, 橋場真貴子, 田屋香, 佐藤加奈子, 山田律子
2. 発表標題 急性期病院における認知症高齢者への看護師の対応力向上を目指した教育の効果 - 独自に作成した認知症ケアガイドを用いて -
3. 学会等名 日本老年看護学会 第24回学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田智子, 前谷彰子, 大山千尋, 米谷和敏, 吉川美幸, 大辻誠司, 内海久美子, 山田律子
2. 発表標題 認知症初期集中支援チームにおける認知症高齢者への看護実践 相談から初回訪問を経て病院受診へ繋いだ過程での配慮と工夫
3. 学会等名 日本老年看護学会 第24回学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田智子, 前谷彰子, 大山千尋, 米谷和敏, 吉川美幸, 大辻誠司, 内海久美子, 山田律子
2. 発表標題 認知症初期集中支援チームの取り組み～看護師の役割と予防の視点から～
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会 (日本教育会館)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者の摂食嚥下障害と多職種協働による支援 ～食べる喜びを支えるために～
3. 学会等名 第19回 摂食嚥下リハビリテーション主催 北海道地区研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症と摂食嚥下障害
3. 学会等名 日本神経学会 第6回 日本神経学会メディカルスタッフ教育セミナー 【セミナー1】認知症の症状の理解に基づくマネジメント（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者のサルコペニアとその予防
3. 学会等名 日本老年医学会 合同シンポジウム5 栄養・食べる力（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者がおいしく食べるために ～行動の背景にある真意とは～
3. 学会等名 日本アンチエイジング歯科学会第14回学術大会 【認定歯科衛生士取得指定講座】（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者への歯科診療と食支援～実践に役立つ視点とスキル～
3. 学会等名 モリタ友の会歯科衛生士向け特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 2025年に向けて、そしてその先の高齢者医療の中で看護職が果たす役割～「長生きして良かった」と思える社会を実現するために～
3. 学会等名 第63回 日本病院学会 シンポジウム2 「高齢者に対するこれからの医療」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者の食べる喜びを支えるケア
3. 学会等名 日本看護協会 神戸研修センター 令和元年度教育計画研修プログラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症の方への食事支援について
3. 学会等名 令和元年度 中央区ケア友の会 認知症の方を介護する男性介護者のつどい（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 末永智美, 會田英紀, 山田律子, 平井敏博
2. 発表標題 施設高齢者の口腔機能低下予測因子に関する研究
3. 学会等名 認知症と口腔機能研究会第1回学術大会, 東京 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 尾立 光, 金本 路, 堀内優香, 山本健太, 煙山修平, 末永智美, 吉野夕香, 川上智史, 會田英紀, 平井敏博
2. 発表標題 当院における歯科訪問診療の欠損歯列の病態についての過去2年間の年次推移
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第30回学術大会, 仙台
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium: UCL-Japan Grand Challenges symposium. "New horizons for dementia in super-aged societies"
3. 学会等名 Janet Forum 2019: Demographic Change and Higher Education in the Global Context (グローバルな文脈における人口変動と高等教育) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium: Dementia update. "Therapeutic strategies for Lewy body dementia"
3. 学会等名 27th Annual Conference of Indian Academy of Neurology. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Recent research and support network for DLB in Japan.
3. 学会等名 3rd Asia-Pacific Aging Protection (APAP) & 65th founding anniversary of Kaohsiung Medical University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium: Non AD dementia. Frontotemporal dementia.
3. 学会等名 21th Asia-Pacific Regional Conference of Alzheimer ' s Disease International. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium: The Grobal Action Plan on Public Health Response-APRO. The very young to the oldest.
3. 学会等名 21th Asia-Pacific Regional Conference of Alzheimer ' s Disease International. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium: Consortia. Japan DLB research network. International Lewy Body Dementia Conference.
3. 学会等名 International Lewy Body Dementia Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 (シンポジウム) 認知症と正しく向き合うために 予防と治療の進歩 . 「認知症の医療とケア」
3. 学会等名 第30回日本医学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 プレナリーレクチャー16「人生の最終段階における医療とケア ACPにフレイルの知見を活かす」
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 「ACP推進に関する提言」の目標と定義について、シンポジウム2(倫理委員会企画)日本老年医学会「ACP推進に関する提言」～提言に至る背景と解説
3. 学会等名 第61回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 これからの認知症予防
3. 学会等名 第23回東北老年期認知症研究会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症予防とアロマセラピー
3. 学会等名 第22回日本アロマセラピー学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症の共生と予防に向けて～一般社団法人日本認知症予防学会の果たす役割
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 アロマセラピーによる認知症予防効果の検討
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー病の認知機能の変化とCSFのアミロイドオリゴマー濃度の関連性
3. 学会等名 第38回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古川翔太, 河月稔, 勝部史也, 小橋悠輝, 吉野知子, 景山裕子, 中原孝訓, 有富千帆, 向井京子, 浦上克哉
2. 発表標題 とっとり方式認知症予防プログラムの開発研究
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小橋悠輝, 河月稔, 勝部史也, 古川翔太, 三谷圭右, 澤口安男, 三谷且哉, 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 軽度認知障害を検出するためのコンピューター式スクリーニング検査法の開発
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤口安男, 高村歩美, 三谷且哉, 浦上克哉
2. 発表標題 脳脊髄液のA _β オリゴマー定量分析によるアルツハイマー型認知症早期診断の可能性
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三谷且哉, 高村歩美, 澤口安男, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症診断における脳脊髄液バイオマーカーA _β 42の有用性
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三谷且哉, 高村歩美, 澤口安男, 浦上克哉
2. 発表標題 L-グルタミン酸ナトリウム(うま味成分)摂取による認知機能に対する影響の検討
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三ツ星紀子, 持田茂, 河月稔, 森本兼人, 浦上克哉
2. 発表標題 高齢者における骨折後リハビリテーションの選択は脳機能にどのように影響するか
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敏秀, 浦上克哉
2. 発表標題 在宅高齢者の認知機能変化が示す特徴と支援に関する検討 TDAS を用いた10年間の追跡事例をもとに
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河月稔, 勝部史也, 小橋悠輝, 小澤洋平, 金子俊彦, 浦上克哉
2. 発表標題 トドマツから抽出した精油を用いた芳香療法が認知機能に与える影響についての検討
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 勝部史也, 河月稔, 小橋悠輝, 古川翔太, 三谷圭右, 澤口安男, 三谷且哉, 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症における性格や社会的環境要因をふまえた行動・心理症状の検討
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 天野宏紀, 増本年男, 皆木一磨, 大谷眞二, 浦上克哉, 黒沢洋一
2. 発表標題 高齢者における日中の過度の眠気と軽度認知障害に関する1年後の追跡調査
3. 学会等名 第9回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河月稔, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症と動脈硬化指標の関連性についての検討
3. 学会等名 第10回日本脳血管・認知症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河月稔, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症および軽度認知障害の味覚機能の検討
3. 学会等名 第34回日本老年精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 田中弥生, 河合恒, 解良武士, 大淵修一, 渡邊裕.
2. 発表標題 地域在住高齢者、通所事業所利用者、介護保険施設入所者の栄養指標の比較
3. 学会等名 第61回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keiko Motokawa, Ayako Edahiro, Maki Shirobe, Hirohiko Hirano, Yutaka Watanabe.
2. 発表標題 Examination concerning indicators for body composition and nutritional status in each category of Functional Assessment Staging (FAST) among older people with Alzheimer's disease.
3. 学会等名 Asian congress of nutrition (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Daichi Hoshino, Ayako Edahiro, Yoshihiro Kugimiya, Kentaro Igarashi, Keiko Motokawa, Yuki Ohara, Hirohiko Hirano, Mie Myers, Shouji Hironaka, Yasubumi Maruoka.
2. 発表標題 Association between simple evaluation of eating and swallowing function and mortality among patients with advanced dementia in nursing homes: 1-year prospective cohort study.
3. 学会等名 9th European society for swallowing disorders (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirohiko Hirano, Ayako Edahiro, Shuichi Awata, Tetsuo Itikawa, Yutaka Wanabe.
2. 発表標題 The statement of position for dental care and the dental treatment guideline for the elderly peoples with dementia.
3. 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤豊展, 谷合信一, Huu Hanh Nguyen Thi, 秋山直登, 鈴木優希, 安武夏海, 柴本 勇
2. 発表標題 健康高齢者における舌挙上運動時の舌骨上筋群の筋活動 - 筋疲労の解析 -
3. 学会等名 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秋山直登, 佐藤豊展, 谷合信一, 延山誠一, 竹下友一郎, 吉田成利, 藤島一郎, 柴本勇
2. 発表標題 咀嚼負荷量の違いが慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸機能に及ぼす影響
3. 学会等名 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 機械学習を応用した咀嚼・嚥下運動のEMG評価法の開発とその臨床応用～臨床サイドから
3. 学会等名 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口美春, 渡邊良平, 大崎里紗, 松井萌華, 妹尾 望, 佐藤豊展, 柴本 勇
2. 発表標題 表面筋電バイオフィードバック訓練によって摂食時間が短縮した多発性脳梗塞の1例
3. 学会等名 第20回日本言語聴覚士学会, 大分
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 最期まで食べて苦痛なく過ごすための評価とリスク管理
3. 学会等名 呼吸ケアと誤嚥ケア学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 日本における摂食嚥下リハビリテーションの発展
3. 学会等名 中山大学摂食嚥下リハビリテーション研究会，中国広州（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 姿勢調整と摂食嚥下リハビリテーション
3. 学会等名 華中科技大学同済医学院附属同済病院 第1回嚥下研究会，中国武漢（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 多職種で行う摂食嚥下障害の臨床実践：臨床思考と訓練
3. 学会等名 熊本県歯科医師会 多職種で取り組む食支援アドバンスコース研修会，熊本（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴本 勇
2. 発表標題 摂食嚥下訓練のUp-to-date～各種訓練法の適応からsEMGバイオフィードバック訓練の実践まで～
3. 学会等名 言語聴覚療法臨床研究会研修会，大阪（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Isamu Shibamoto, Mami Sugimoto, Shinichi Taniyai, Tomohiro Omori, Masanori Osumi
2. 発表標題 EFFECTS OF VISUAL FEEDBACK DURING CHEWING IN A PATIENT WITH FACIAL ONSET SENSORY AND MOTOR NEURONOPATHY (FOSMN)
3. 学会等名 31st World Congress of the IALP, Taipei TAIWAN (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Isamu Shibamoto, Atsunobu Sato, Shinichi Taniyai, Huu Hanh Nguen Thi, Naoto Akiyama, Van Thanh Vu, Yuki Suzuki, Natsumi Yasutake
2. 発表標題 Laterality of cortical representation during solid and liquid swallowing
3. 学会等名 31st World Congress of the IALP, Taipei TAIWAN (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahiro Suzuki, Makoto Sasaki, Katsuhiro Kamata, Atsushi Nakayama, Isamu Shibamoto, Yasushi Tamada
2. 発表標題 Swallowing pattern classification method using multichannel surface EMG signals of suprahyoid and infrahyoid muscles
3. 学会等名 日本生体医工学会 生体医工学シンポジウム，愛媛
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Isamu Shibamoto
2. 発表標題 Assessment and clinical management for swallowing disorders in Japan.
3. 学会等名 The international conference on dysphagia and nutrition , Taipei TAIWAN (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Isamu Shibamoto
2. 発表標題 Developing therapeutic machine for dysphagia
3. 学会等名 The 1st Taiwan and Japan Swallowing Joint Conference , Taipei TAIWAN (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川真奈美, 山田律子
2. 発表標題 1.介護老人保健施設における認知症高齢者へのエンドオブライフ・ケア～多職種協働を意図した介入とその成果
3. 学会等名 日本老年看護学会第23回学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田智子, 前谷彰子, 大山千尋, 米谷和敏, 吉川美幸, 大辻誠司, 内海久美子, 山田律子
2. 発表標題 認知症初期集中支援チームの取り組み～看護師の役割と予防の視点から
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 最期まで食べる喜びを支えるために：多職種協働によって拓かれるケア
3. 学会等名 第20回日本医療マネジメント学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者へのケア・歯科治療における環境づくり：人間工学的技法から考える
3. 学会等名 日本歯科人間工学会第34回研究発表大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症の基本と食について
3. 学会等名 北海道歯科医師会，歯科医療従事者認知症対応力向上研修（招待講演）
4. 発表年 2018年～2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症の人の食べる喜びを支えるために
3. 学会等名 介護関係職員医療連携支援研修（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症の人のための食事ケア
3. 学会等名 摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程フォローアップ研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamada, R
2. 発表標題 Environmental arrangement for enhancing self-feeding in the elderly with dementia
3. 学会等名 International Conference on Problem-Oriented Evidence Care and Research Forum on Patients with Dementia（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamada, R
2. 発表標題 Nutrition Support for the elderly with dementia : Especially focusing on eating support
3. 学会等名 International Conference on Problem-Oriented Evidence Care and Research Forum on Patients with Dementia（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Symposium for Lewy body disease Neuropsychiatric features and therapeutic strategies in dementia with Lewy bodies
3. 学会等名 Korean Association for Geriatric Psychiatry 2018 Asia-Pacific International Geriatric Conference（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Dementia care in Asia Pacific - Dementia care in Japan -
3. 学会等名 Faculty of psychiatry of old age and 12th Congress of Asian Society Against Dementia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Aging Society - Our life in ageing society- how young generation contributes to various problem associated with ageing
3. 学会等名 Challenges for dementia-friendly society living well with dementia - UCL-Japan Youth Challenge Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Supports for dementia patients and their carers by experts from different field
3. 学会等名 大阪大学大学院医学系研究科・University of East Anglia 認知症研究シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda M
2. 発表標題 Dementia management model in Japan
3. 学会等名 Updates on management of dementia disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療-リスクファクターから考える「認知症診療におけるリスクファクターの重要性」
3. 学会等名 第114回日本精神神経学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 超高齢社会における老年医学の課題「地域における認知症対策」
3. 学会等名 吹田（学友会館）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症医療への心理学的貢献「認知症医療における神経心理学的視点と心理的サポートの重要性」
3. 学会等名 日本心理学会公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 わが国における認知症医療の現状と認知症予防の重要性
3. 学会等名 第39回日本肥満学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 コミュニティにおける認知症のリハビリテーション
3. 学会等名 第42回日本高次脳機能障害学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症のBPSDとせん妄の診断、治療
3. 学会等名 平成29年度高知県初診医会講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 脳から見た認知症
3. 学会等名 千里ライフサイエンス新適塾 「脳はおもしろい」第19回会合（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 レビー小体型認知症の精神症状に迫る
3. 学会等名 熊本県精神科協会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究
3. 学会等名 長寿科学政策研究及び認知症政策研究成果発表会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 知っておきたい高齢者の健康課題 認知症を学び直す
3. 学会等名 平成29年度公益財団法人大阪公衆衛生協会成人保健部会講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 生活習慣病と認知症
3. 学会等名 第13回FROM MIST研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 日本における認知症の現状と熊本に見る包括的認知症ケアモデル
3. 学会等名 認知症国際アジア会議in 加賀（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症と精神医学
3. 学会等名 日本精神神経学会 第8回記者勉強会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 BPSDの治療戦略
3. 学会等名 第52回多摩田園臨床精神医学研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 道路交通法改正後の認知症診療のポイント
3. 学会等名 西尾張地区認知症セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 若年性認知症を理解する-医学的側面からのアプローチ-
3. 学会等名 平成29年度若年性認知症支援に係る対応力向上研修（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 若年性認知症の地域支援と家族心理教室
3. 学会等名 第18回 若年認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の診断と治療
3. 学会等名 平成29年度水間病院認知症疾患医療センター研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療の基本
3. 学会等名 第21回左京医師会認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の最新情報を学ぶ
3. 学会等名 粟津神経サナトリウム新病棟開院記念市民講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症と睡眠障害-原因疾患別の特徴を中心に-
3. 学会等名 認知症と睡眠障害カンファランス (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 BPSDの治療戦略
3. 学会等名 第12回横浜認知症研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療の基本
3. 学会等名 地域で診る認知症研修会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の最新の話
3. 学会等名 第12回阪医群青の会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療の基本
3. 学会等名 第53回南大阪精神医療研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 BPSDの治療戦略
3. 学会等名 第20回山陰認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の症候学
3. 学会等名 第22回近畿老年期認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症について
3. 学会等名 大阪地方裁判所 研究会「医師と語る」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療の基本
3. 学会等名 病診連携研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 早期診断・早期治療の多職種連携について
3. 学会等名 認知症カンファランス（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症診療の基本
3. 学会等名 あわぎ認知症フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 Dementia Friendly Society の実現に期待される認知症疾患医療センターの役割
3. 学会等名 平成30年度愛媛大学医学部附属病院認知症疾患医療センター講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の予防と治療
3. 学会等名 第55回大阪大学白菊会特別講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 超高齢社会における老年医学の課題「地域における認知症対策」
3. 学会等名 第30回地域医療の課題とその対策シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 前頭側頭葉変性症、タウオパチー（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症）における精神症状
3. 学会等名 第20回感情・行動・認知（ABC）研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の診断と理解について
3. 学会等名 茨木市介護認定審査会全体会及び認定調査員合同研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症と睡眠障害
3. 学会等名 第4回東予インソムニアセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症疾患医療センターの役割と地域連携の実際
3. 学会等名 認知症初期集中支援及び認知症地域連携関係者スキルアップ研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症 精神科医の立場から
3. 学会等名 矯正研修所大阪支所 第8回医療に関する研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 BPSDと認知症と間違いやすい精神疾患
3. 学会等名 認知症初期集中支援チーム員フォローアップ意見交換会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 認知症の症候学
3. 学会等名 日本精神科病院協会 平成30年度 認知症に関する研修会（第25回）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 DLBの主要徴候と治療戦略
3. 学会等名 DLBセミナー in 栃木（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 レビー小体型認知症の症候学と治療の展望
3. 学会等名 New Horizon for Neurosciences（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田学
2. 発表標題 地域連携における認知症診療の基本
3. 学会等名 摂津市在宅医療研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 日本認知症予防学会（JSDP）プログラムと鳥取県における取り組み
3. 学会等名 WHO認知症に関する専門家ワークショップ「科学的エビデンスを自治体の施策に反映する：優良なモデル自治体づくりを促進するメカニズムとは」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症予防の今後について
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症予防について
3. 学会等名 平成30年度日臨技関東甲信支部・首都圏支部医学検査会 シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 これからの認知症医療に期待されるツール～MSP, TDASとNATの有用性～
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 勝部史也, 河月稔, 三嶋寿佳, 小橋悠輝, 三ツ星紀子, 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 頸動脈プラークスコアと脳脊髄液中のアミロイド 42や認知機能との関連性
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三ツ星紀子, 河月稔, 持田茂, 森本兼人, 浦上克哉
2. 発表標題 骨脆弱性患者におけるリハビリテーションが脳機能に与える効果の検討
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河月稔, 三嶋寿佳, 勝部史也, 小橋悠輝, 三ツ星紀子, 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー型認知症の嗅覚機能および味覚機能の比較
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三嶋寿佳, 河月稔, 小橋悠輝, 勝部史也, 三ツ星紀子, 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 認知機能障害がある高齢者の睡眠評価に対する、うつ状態および認知機能の関連性
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高村歩美, 浦上克哉
2. 発表標題 A オリゴマーを標的としたアルツハイマー型認知症の早期診断バイオマーカーの開発
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野宏紀, 増本年男, 皆本一磨, 大谷眞二, 浦上克哉, 黒沢洋一
2. 発表標題 高齢者における日常の健康サインと軽度認知障害の関連～ベースライン調査の結果より～
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敏秀, 浦上克哉
2. 発表標題 特別養護老人ホーム入居者の認知症疾患に関する実態からケアを考える～認知症診断時期に焦点をあてて～
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症予防の現状と今後の展望～日本認知症予防学会が進むべき方向性～
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会(理事長特別講演)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症医療に対応できる臨床検査技師の育成～卒業教育への導入の必要性～
3. 学会等名 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 教員研修会・学生向け講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三ツ星紀子, 河月稔, 森本兼人, 小林洋平, 田中美枝子, 朝田隆, 武者武光, 浦上克哉
2. 発表標題 骨脆弱性骨折患者リハビリテーションの認知機能に及ぼす影響の検討
3. 学会等名 第9回日本脳血管・認知症学会総会 VAS-COG Japan 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河月稔, 浦上克哉
2. 発表標題 FMD検査とアルツハイマー型認知症の病態との関連
3. 学会等名 9回日本脳血管・認知症学会総会 VAS-COG Japan 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 これから期待される認知症医療
3. 学会等名 第33回日本老年精神医学会 生涯教育講座
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 認知症予防の現状と今後の展望
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会 シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田敏秀, 浦上克哉
2. 発表標題 在宅高齢者の認知機能とADI家族介護負担感の関連分析から得られた支援に対する示唆～9年間のTDASによる追跡事例を用いて～
3. 学会等名 第19回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浦上克哉
2. 発表標題 アルツハイマー認知症の治療とケア
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会 認知症診療の実践セミナー(セッション2: 認知症診療の実際)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中 友規, 平野 浩彦, 渡邊 裕, 菊谷 武, 中條 和子, 佐藤 哲郎, 鈴木 駿介, 秋下 雅弘, 飯島 勝矢
2. 発表標題 オーラルフレイル簡易スクリーニング法の開発: マルチ観察データによる外的妥当性検証
3. 学会等名 第60回日本老年医学学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金 憲経, 粟田 主一, 渡邊 裕, 平野浩彦, 小島 成実, 大須賀 洋祐, 本川 佳子, 稲垣 宏樹, 佐久間 尚子, 枝広 あや子, 新開 省二
2. 発表標題 大都市部在住高齢者における認知的フレイルの特徴と関連要因
3. 学会等名 第60回日本老年医学学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江尻 愛美, 河合 恒, 藤原 佳典, 平野 浩彦, 井原 一成, 小島 基永, 渡邊 裕, 大淵 修一
2. 発表標題 地域在住高齢者における高次生活機能の低下とフレイル, プレフレイルの関連
3. 学会等名 第60回日本老年医学学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木 宏幸, 河合 恒, 小川 将, 桜井 良太, 平野 浩彦, 金 憲経, 井原 一成, 渡邊 裕, 大淵 修一, 藤原 佳典
2. 発表標題 地域高齢者におけるMoCA-Jの反復効果 6年の縦断追跡による検討
3. 学会等名 第60回日本老年医学学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 星野 大地, 渡邊 裕, 本川 佳子, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 本橋 佳子, 高橋 知佳, 平野 浩彦, 村上 浩史, 弘中 祥司, 丸岡 靖史
2. 発表標題 介護老人福祉施設入所高齢者の摂食嚥下機能の簡易評価と死亡との関係 1年間の縦断調査
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小原 由紀, 白部 麻樹, 高橋 知佳, 本川 佳子, 本橋 佳子, 枝広 あや子, 平野 浩彦, 渡邊 裕, 大淵 修一
2. 発表標題 高齢者の主観的口腔健康評価尺度の開発および信頼性・妥当性の検討
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 加代子, 枝広 あや子, 渡部 芳彦, 小原 由紀, 本橋 佳子, 森下 志穂, 本川 佳子, 井上 誠, 渡邊 裕, 平野 浩彦
2. 発表標題 介護保険施設利用者における口腔機能向上および栄養改善プログラムに関する質的研究
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋 知佳, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 村上 正治, 本橋 佳子, 本川 佳子, 中島 純子, 平野 浩彦, 渡邊 裕
2. 発表標題 地域在住高齢者におけるオーラルフレイルに関連する因子の検討
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白部 麻樹, 平野 浩彦, 枝広 あや子, 小原 由紀, 本橋 佳子, 森下 志穂, 本川 佳子, 村上 正治, 大淵 修一, 渡邊 裕
2. 発表標題 終末期要介護高齢者の転帰と口腔状況との関係 特定地域悉皆調査に基づく検討
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakajima.J, Sakamoto.M, Watanabe.Y, Edahiro.A, Motokawa.K, Shirobe.M, Hirano.H, Ito.K, Kanehisa.Y, Yamada.R, yoshihara.A
2. 発表標題 Relationship between mortality rate and self-feeding ability in Japanese nursing-home residents
3. 学会等名 Japan-Korea Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白部麻樹, 植田拓也, 江尻愛美, 伊藤久美子, 安永正史, 中村睦美, 三木明子, 平野浩彦, 渡邊裕, 大淵修一
2. 発表標題 地域の介護予防活動を促進するための東京都介護予防推進支援センターにおける歯科衛生士の役割
3. 学会等名 日本歯科衛生学会第13回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 口腔機能低下症・口腔機能発達不全症
3. 学会等名 兵庫県歯科医師会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 オーラルフレイル改善プログラムについて
3. 学会等名 神奈川県歯科医師会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 「口腔機能低下症を示す症状と評価方法」および「今年度より始まる口腔機能向上健診」
3. 学会等名 公益社団法人東京都滝野川歯科医師会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 口から始まる健康長寿 オーラル・フレイルの理解
3. 学会等名 一般社団法人岩手県歯科衛生士会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 包括的フレイル予防とオーラルフレイル予防の重要性などに関する事柄
3. 学会等名 山形県歯科医師会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 オーラルフレイル解消によるQOL向上への取り組み
3. 学会等名 第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 認知症とフレイルをつなげる～メカニズムそして予防～Bridging dementia and Frailty～From patogenesis to prevention～
3. 学会等名 第14回長寿医療研究センター国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 口腔機能低下症をどう診る－オーラルフレイルの視点から－
3. 学会等名 東京都文京区歯科医師会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 高齢者における口腔健康管理の意義－オーラルフレイル予防の視点
3. 学会等名 東京都医師会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野浩彦
2. 発表標題 高齢者の歯科医療について
3. 学会等名 東京歯科大学市川総合病院（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aita K
2. 発表標題 End-of-life Care for the Aged in Japan: Withholding and withdrawal of artificial hydration and nutrition
3. 学会等名 Japan-Korea-Taiwan Joing Symposium on End-of-life Care, the 60th annual meeting of the Japan Geriatrics Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aita K
2. 発表標題 End-of-life care for the aged in Japan: withholding and withdrawal of artificial hydration and nutrition
3. 学会等名 The 62nd Congress of The Korean Geriatrics Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 長寿時代のエンドオブライフ・ケア
3. 学会等名 第67回日本口腔衛生学会第23回認定医研修会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 認知症者の終末期医療をどう考えるか
3. 学会等名 第37回日本認知症学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 ACPとフレイル 本人らしく生きて、生き終わることをサポートするために
3. 学会等名 第21回日本在宅ホスピス協会全国大会 in金沢 県民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 フレイルとACP 不要なCPRを避けるための臨床倫理
3. 学会等名 第46回日本救急医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 会田薫子
2. 発表標題 高齢者医療とエンドオブライフ・ケアの倫理
3. 学会等名 第31回日本総合病院精神医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 末永智美, 吉野夕香, 金本路, 堀内優香, 今井哲郎, 植木沢美, 川上智史, 曾田英紀, 平井敏博
2. 発表標題 服薬管理が困難な認知症高齢者に対する歯科訪問診療が多職種協働によって可能になった1症例
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今井哲郎, 堀内優香, 山本健太, 尾立光, 末永智美, 吉野夕香, 川上智史, 曾田英紀, 平井敏博
2. 発表標題 当院における歯科訪問診療患者の欠損歯列の病態について推移調査
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 曾田英紀
2. 発表標題 お口の機能を保って健康長寿
3. 学会等名 平成30年度公益社団法人日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会・学術大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 曾田英紀
2. 発表標題 超高齢社会におけるインプラント治療を再考する
3. 学会等名 北海道口腔医療研究会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Inagaki H, Awata S, Ura C, Ogawa M, Sakuma N, Sugiyama M, Miyamae F, Edahiro A
2. 発表標題 Does the cognitive decline relate the social isolation? :From results of Takashimadaira Study
3. 学会等名 The Gerontological Society of America 71th Annual Scientific Meeting(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Ura C, Miyamae F, Edahiro A, Okamura T, Awata S
2. 発表標題 Socioeconomic disadvantage in early life predicts poor physical performance in late life among older Japanese
3. 学会等名 The Gerontological Society of America 71th Annual Scientific Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motokawa K, Edahiro A, Shirobe M, Hirano H, Obuchi S, Kawai H, Watanabe Y
2. 発表標題 Relationship between frailty severity and dietary variety among older adults
3. 学会等名 4th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia(ACFS 2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Edahiro A, Hirano H
2. 発表標題 Viewpoint of dental care and mealtime care accompanying dementia progression
3. 学会等名 progression. International Congress of the European Geriatric Medicine Society (14th EuGMS) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirano H, Edahiro A, Watanabe Y, Itikawa T
2. 発表標題 The statement of position for dental care and The dental treatment guideline for the elderly peoples with dementia from The Japanese Society of Gerodontology (JSG)
3. 学会等名 International Congress of the European Geriatric Medicine Society (14th EuGMS) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Edahiro A, Ogawa M, Ura C, Inagaki H, Kim H, Shinkai S, Awata S
2. 発表標題 Relationship between Sleep Efficiency and Appetite in Elderly Residents of Metropolitan Japan
3. 学会等名 The 9th Congress of Asian Sleep Research Society (ASRS) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弘中早苗, 白部麻樹, 本川佳子, 本橋佳子, 枝広あや子, 渡邊裕, 平野浩彦, 弘中祥司, 足立 融, 小野高裕, 柿木保明
2. 発表標題 後期高齢者歯科健診受診者のオーラルフレイルの実態と関連因子の検討
3. 学会等名 第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯塚あい, 鈴木宏幸, 小川将, 杉山美香, 稲垣宏樹, 宇良千秋, 小川まどか, 枝広あや子, 宮前史子, 岡村毅, 栗田主一, 藤原佳典
2. 発表標題 認知機能低下抑制プログラムにおけるタブレットの適応可能性の検討 囲碁を活用した介入プログラム「iGoこち」より (浦上賞受賞)
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋 知佳, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 本川 佳子, 本橋 佳子, 平野 浩彦, 渡邊 裕
2. 発表標題 オーラルフレイルの発現および身体的・精神的要因との関連性の検討
3. 学会等名 日本歯科衛生学会第13回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本川佳子, 菊谷武, 秋野憲一, 田中弥生, 枝広あや子, 小城明子, 藤谷順子, 渡邊裕
2. 発表標題 摂食嚥下機能低下社への介護保険施設等における嚥下調整食の提供に関する実態調査
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弘中早苗, 白部麻樹, 本橋佳子, 枝広あや子, 渡邊裕, 平野浩彦, 弘中祥司, 柿木 保明
2. 発表標題 要介護高齢者における死亡発生と摂食嚥下機能の関係
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村毅, 宇良千秋, 杉山美香, 稲垣宏樹, 小川まどか, 枝広あや子, 宮前史子, 新川祐利, 釘宮由紀子, 岡村睦子, 加藤徳子, 栗田主一
2. 発表標題 大都市に暮らす認知症高齢者の実態調査(その2) 高島平スタディ ハイリスク者の縦断研究
3. 学会等名 第33回日本老年精神医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 枝広あや子, 稲垣宏樹, 宇良千秋, 岡村毅, 小川まどか, 佐久間尚子, 杉山美香, 新川祐利, 宮前史子, 鈴木宏幸, 白部麻樹, 本川佳子, 渡邊裕, 金憲経, 栗田主一
2. 発表標題 大都市に暮らす高齢者の認知機能低下と身体・口腔機能低下との関連 高島平スタディ
3. 学会等名 第33回日本老年精神医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 釘宮嘉浩, 渡邊裕, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 平野浩彦, 堀部耕広, 高野智史, 上田貴之, 櫻井薫
2. 発表標題 大都市部在住高齢者の軽度認知機能低下に関連する口腔機能の検討(優秀課題口演賞受賞)
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上正治, 枝広あや子, 本川佳子, 小原由紀, 白部麻樹, 田中友規, 飯島勝矢, 平野浩彦, 岩佐康行, 渡邊裕
2. 発表標題 咬筋体積の簡易測定法の検討とサルコペニアとの関連性
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 星野大地, 渡邊裕, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 本橋佳子, 高橋知佳, 平野浩彦, 村上浩史, 弘中早苗, 丸岡靖史
2. 発表標題 介護老人福祉施設入所高齢者の摂食嚥下機能の簡易評価と死亡との関係: 1年間の縦断調査
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 五十嵐健太郎, 渡邊裕, 釘宮嘉浩, 梅木賢人, 本川佳子, 白部麻樹, 枝広あや子, 中島純子, 伊藤誠康, 平野浩彦, 櫻井薫, 河相安彦
2. 発表標題 口腔機能管理指標としての咬合支持と咀嚼機能との関連-義歯装着時の機能的咬合支持の検討-
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松原ちあき, 古屋純一, 尾花三千代, 白部麻樹, 高橋知佳, 枝広あや子, 本橋佳子, 本川佳子, 中島純子, 平野浩彦, 渡邊裕
2. 発表標題 唾液中潜血を指標とした歯周疾患の重症度に影響する要因の検討(歯科衛生士部門優秀ポスター賞受賞)
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 枝広あや子, 小原由紀, 白部麻樹, 本川佳子, 本橋佳子, 伊藤加代子, 渡部芳彦, 渡邊裕, 田中弥生, 安藤雄一, 平野浩彦
2. 発表標題 介護保険施設の経口摂取支援のプロセス評価による多職種連携の発展効果
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 枝広あや子, 杉山美香, 粟田主一
2. 発表標題 認知症疾患医療センターにおける認知症疾患の年間鑑別診断数と発生率の検討
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇良千秋, 杉山美香, 稲垣宏樹, 枝広あや子, 本川佳子, 宮前史子, 岡村毅, 村山洋史, 粟田主一
2. 発表標題 認知症アセスメントシート(DASC-21)における自己評価と他者評価の関連性について
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 枝広あや子
2. 発表標題 地域包括ケア時代の地域連携～心と体の栄養管理～ 認知症と共に生きる方に対する食事の支援
3. 学会等名 第20回日本医療マネジメント学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊裕, 本川佳子, 枝広あや子, 平野浩彦, 田中弥
2. 発表標題 特別養護老人ホーム入所要介護高齢者の食欲と死亡との関係 1年間の縦断調査
3. 学会等名 第33回日本静脈経腸栄養学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本川佳子, 枝広あや子, 平野浩彦, 田中弥生, 渡邊裕
2. 発表標題 サルコペニア・フレイルの評価とリハビリテーション栄養 地域在住高齢者のフレイル重症度と栄養関連指標の検討
3. 学会等名 第33回日本静脈経腸栄養学会学術大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計25件

1. 著者名 浦上 克哉	4. 発行年 2021年
2. 出版社 翔泳社	5. 総ページ数 216
3. 書名 科学的に正しい認知症予防講義	

1. 著者名 山田律子（平原佐斗司，桑田美代子編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 279
3. 書名 認知症の緩和ケア	

1. 著者名 山田律子（平野浩彦，枝広あや子，本橋佳子編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 145
3. 書名 歯科医院で認知症の患者さんに対応するための本 ガイドラインに基づいた理解・接遇・治療・ケア	

1. 著者名 山田律子（一般社団法人 日本老年歯科医学会 / 日本医療研究開発機構研究費「認知症の容体に応じた歯科診療等の口腔管理及び栄養マネジメントによる経口摂取支援に関する研究」ガイドライン作成班編集）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 認知症の人への歯科治療ガイドライン	

1. 著者名 池田 学、村井 千賀	4. 発行年 2020年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 188
3. 書名 疾患別にみる認知症と作業療法 AD, DLB, FTDを中心に	

1. 著者名 平野浩彦（平原佐斗司、桑田美代子編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 279
3. 書名 認知症の緩和ケア	

1. 著者名 平野浩彦（奈良 勲編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 464
3. 書名 老年学 第5版	

1. 著者名 平野浩彦、粟田主一、市川哲雄、枝広あや子、大塚礼、小玉剛、櫻井薫、櫻井孝、武井典子、田中弥生、野原幹司、深井獲博、山田律子、渡邊裕、他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 192
3. 書名 認知症の人への歯科治療ガイドライン	

1. 著者名 平野浩彦、枝広あや子、本橋佳子（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 154
3. 書名 歯科医院で認知症の患者さんに対応するための本ガイドラインに基づいた理解・接遇・治療・ケア	

1. 著者名 山田 律子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 797
3. 書名 老年医学(下) - 基礎・臨床研究の最新動向(担当「15老年看護学-栄養関連障害(摂食嚥下障害, 低栄養, 脱水)」)	

1. 著者名 柴本勇(藤田郁代、北義子、阿部昌子編集)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 288
3. 書名 言語聴覚障害学概論 第2版	

1. 著者名 柴本勇(栢下淳、若林秀隆編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 218
3. 書名 リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版	

1. 著者名 平野浩彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 PHP研究所	5. 総ページ数 176
3. 書名 フレイルの専門医が教える 舌を鍛えると長生きできる!	

1. 著者名 池田学 (種村 純編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ばーそん書房	5. 総ページ数 624
3. 書名 やさしい高次脳機能障害用語辞典 (担当「クリューヴァー・ビューシー症候群」「前頭側頭葉変性症」「葉性萎縮」)	

1. 著者名 池田学 (武田克彦, 三村将, 渡邊修編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 208
3. 書名 高次脳機能障害のリハビリテーション (担当「認知症&変性性認知症, 血管性認知症等」)	

1. 著者名 池田学 (粟田主一, 北川泰久, 鳥羽研二, 三村将, 弓倉整, 横手幸太郎編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 360
3. 書名 認知症トータルケア (担当「前頭側頭型認知症」)	

1. 著者名 池田学	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本臨床社	5. 総ページ数 793
3. 書名 老年医学 (下) 基礎・臨床研究の最新動向 (担当「生活行為の基本と認知症のリハビリテーション」)	

1. 著者名 池田学	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本臨床社	5. 総ページ数 720
3. 書名 老年医学(上) 基礎・臨床研究の最新動向(担当「物忘れ・認知機能障害」)	

1. 著者名 池田学(水澤英洋編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 392
3. 書名 神経変性疾患ハンドブック(担当「前頭側頭葉変性症」)	

1. 著者名 池田学(尾崎紀夫, 三村 將, 水野雅文, 村井俊編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 586
3. 書名 標準精神医学 第7版(担当「神経心理学的検査」)	

1. 著者名 会田薫子(日本緩和医療学会編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2018年版(担当「章 倫理的検討」)	

1. 著者名 会田薫子（ヘルスケア総合政策研究所編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本医療企画	5. 総ページ数 183
3. 書名 医療白書2018年度版（担当「第5章 患者の意思決定支援に向けてACPをどのように普及・推進すべきか」）	

1. 著者名 会田薫子（日本家政学会編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 224
3. 書名 現代家族を読み解く12章（担当「臨床倫理・死生学と家族」）	

1. 著者名 枝広あや子（一戸達也・石垣佳希・弘中祥司監著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 クインテッセンス出版	5. 総ページ数 224
3. 書名 日本歯科医学会が選出 医科歯科連携に役立つキーワード200 歯科医師・歯科衛生士のためのポケットブック	

1. 著者名 枝広あや子（荒井秀典編集）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 200
3. 書名 フレイルのみかた(担当「 .フレイルを理解する」「7.オーラルフレイルとは？」)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	池田 学 (IKEDA Manabu) (60284395)	大阪大学大学院・医学系研究科・教授 (14401)	
研究分担者	浦上 克哉 (URAKAMI Katsuya) (30213507)	鳥取大学・医学部・教授 (15101)	
研究分担者	柴本 勇 (SHIBAMOTO Isamu) (30458418)	聖隷クリストファー大学・リハビリテーション学部・教授 (33804)	
研究分担者	会田 薫子 (AIDA Kaoruko) (40507810)	東京大学大学院・人文社会系研究科・特任教授 (12601)	
研究分担者	平野 浩彦 (HIRANO Hirohiko) (10271561)	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター(東京都健康長寿医療センター研究所)・東京都健康長寿医療センター・歯科口腔外科部長 (82674)	
研究分担者	千葉 由美 (CHIBA Yumi) (10313256)	横浜市立大学・医学部・教授 (22701)	
研究分担者	武部 久美子 (TAKEBE Kumiko) (60439495)	つくば国際大学・医療保健学部・教授 (20104)	
研究分担者	會田 英紀 (AITA Hideki) (10301011)	北海道医療大学・歯学部・教授 (30110)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------